

## 2019年度学習支援計画書(シラバス)

科目名			担当講師		
スタイリング(後期)			船越 さえ美		
授業科目区分	授業形態	学科名	学年	時間数	
必修	講義	ファッションビジネス科	1	90	時間
担当講師の経歴又は実務経験					
一般社団法人 日本ファッションスタイリスト協会 エグゼクティブインストラクター フリースタイリスト					
授業概要					
スタイリングの基本を学ぶ					
学習到達目標					
<p>* ファッションの歴史から、アイテム、ルック、シルエット、デザイナーを理解し、現在のスタイルとのかかわりでとらえることができるようにする。</p> <p>* ファッションの歴史を学ぶことによりスタイルの流行の変遷についての理解を深める。</p> <p>* 服飾用語を学び、スタイリング提案の説明に使えるようにする。</p> <p>* 各種検定の基礎となる商品知識を強化する</p> <p>ファッションビジネス科の生徒のほとんどがファッションの販売職につきます。接客をする中でお客様の満足度をいかに上げるかは大きな課題です。センスという曖昧な概念ではなく、言葉で論理的にスタイリングの提案ができるようになる必要があります。そのために日本ファッションスタイリスト協会が構築した「スタイリングメソッド”Styling Map”」を学びます。色・形・素材・内面といった切り口で”似合う”について軸をとり、論理的に分類、分析していきます。</p>					
テキスト及び教材					
ROOTS OF STREET STYLE グラフィック社 Styling Map 一般社団法人日本ファッションスタイリスト協会					
授業内容					
回	テーマ		内 容		
1	前期授業の方向性と指導ポイントの説明 ～ファッションビジネスの現在～				
2	ドレススタイル からシャネル以後のスタイル 19世紀=1920年代				
3	1930年代~50年代 戦後のディオール 映画とファッション				
4	NY, Londonアイビーとモッズ、サイケ				
5	サンローラン プレタポルテヴィヴィアン・ウエストウッド パンク				
6	～歴の流れをつかむ～服飾史				
7	世界のファッション 国別ファッションの歴史的流れ				
8	ファッション販売検定B科目商品知識				
9	夏季休暇中の課題 映画とファッションについて発表				
10	与えられたファッションテーマについてまとめて発表する				
11	ファッション用語を使ったスタイリング提案				
12	テスト				
13	はじめに Chaper 0 Styling Map セルフチェック				
14	Chaper 1 Styling Mapを学ぶ前に				
15	Chaper 2 Styling Mapの基本				
16	Chaper 3 「物の色」を分析・分類しよう				
17	ワーク 演習 物の色を分類してみる				
18	Chaper 4 「人の色」を分析・分類しよう				
19	グループワーク カラーウィッグを使った似合う色についての分析				

20	Chaper 5 「物の形」を分析・分類しよう	
21	ワーク 演習 「物の形」	
22	Chaper 6 「人の形」を分析・分類しよう	
23	Chaper 7 「物の素材」を分析・分類しよう	
24	Chaper 8 「人の素材」を分析・分類しよう	
25	Chaper 9 「内面(思考・言動)」を分析・分類しよう	
26	Chaper 10 Styling Map まとめ	
27	テスト	

### 成績評価の方法及び基準

テスト、レポート、提出物による評価。  
 なお全体出席の2/3以下の場合、成績評価の対象外となります。□

評価		成績評価の到達度
A	優れている	理解、知識、技術にすぐれている
B	普通	一定の理解、知識、技術がある
C	やや劣る	ある程度の理解、知識、技術がある
D	劣る	理解、知識、技術がやや不足している
E	不合格	理解、知識、技術が不足している